

2023年度事業報告書

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

2023年度事業報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

1 博覧会の開催に向けた事業の実施

(1) 業務領域別の計画策定・推進

2027年国際園芸博覧会（以下「博覧会」という。）の開催準備を着実に推進するため、基本計画を踏まえた業務領域別の計画を策定・推進するとともに、参加招請や植物調達に関する調整等を進めた。

ア 展示・出展計画

- ・テーマ館展示及び展示園に関する基本設計を行った。
- ・「GREEN×EXPO 2027 共創キックオフ・ミーティング」を開催し、出展・協賛等に関する参加メニューを公表するとともに、企業・団体等へ参画を呼びかけた。

(9月)

- ・「第2回 GREEN×EXPO 2027 花と緑の共創推進会議」を開催し、花き園芸・造園に関連する団体と、博覧会開催に向けた機運醸成、出展方法等に関する案内や意見交換を行った。(10月)
- ・「GREEN×EXPO 2027 共創フォーラム」を開催した。あわせて、「花・緑出展」「Village 出展」に関する公募要領を公表し、出展に向けた手続を開始した。(3月)
- ・日本政府と連携し、駐日大使館向け説明会・現地視察会を実施するなど、外国政府・国際機関等に対して参加招請を進めた。

イ 行催事計画

- ・公式行事や主催者・参加者催事等に関する行催事基本計画を策定した。

ウ 会場計画

- ・基盤施設など会場整備の実施設計を行った。
- ・屋内展示施設（テーマ館及び園芸文化館）、仮設のサービス施設や管理運営施設等の基本設計を行った。

エ 植物監理計画

- ・植物監理・調達・維持管理に関する検討の深度化を図った。
- ・植物調達パートナーを公募し、認定を行った。

オ 運営計画

- ・来場者サービスや会場内警備等に関する会場運営・会場管理基本計画を検討した。

カ 輸送計画

- ・関係機関の委員で構成する輸送対策協議会や有識者との技術検討会での議

論を踏まえ、来場者輸送基本計画を策定した。

キ コミュニケーション計画

- ・博覧会開幕までを視野に入れた広報計画を策定し、認知度向上や企業参加促進に取り組んだ。

ク サステナビリティ戦略・実施計画

- ・持続可能性有識者委員会での審議等を踏まえ、サステナビリティ戦略・実施計画、持続可能性に配慮した調達コードを策定した。

(2) 環境影響評価手続の実施

環境影響評価手続を横浜市の条例に基づき計画的に実施した。

ア 環境影響評価方法書の修正手続完了（7月）

イ 環境影響評価準備書の公告・縦覧（10～12月）及び説明会の開催（10月）

ウ 環境影響評価書（案）の作成

(3) 国際機関との調整

国際園芸家協会（以下「AIPH」という。）及び博覧会国際事務局（以下「BIE」という。）とA1クラスの国際園芸博覧会開催に必要な連絡・調整を行った。

ア AIPH及びBIEの要件等に基づく特別規則や計画等の検討

- ・特別規則の第1号（テーマ）及び第2号（参加条件）についてBIE総会において承認された。（6月）
- ・特別規則の第1号及び第2号に関わる参加ガイドラインを策定した。（3月）

イ AIPH及びBIEとの連絡・調整

- ・AIPHの視察を受け入れ、準備状況について報告した。

2023年7月11日 神奈川県・横浜市 表敬訪問、上瀬谷現地視察

7月12日 農水省・国交省 表敬訪問、博覧会協会報告・質疑応答等

- ・AIPH博覧会委員会及びBIE総会等に出席し、進捗報告を行った。

2023年5月10日 BIE執行委員会（フランス・パリ）

5月11日 BIE情報コミュニケーション委員会（フランス・パリ）

5月12日 BIE規則委員会（フランス・パリ）

6月20日 第172回BIE総会（フランス・パリ）

9月18日 AIPH博覧会委員会（韓国・順天市）

10月13日 BIE執行委員会（フランス・パリ）

10月19日 BIE情報コミュニケーション委員会（フランス・パリ）

11月28日 第173回BIE総会（フランス・パリ）

2024年3月4日 AIPH博覧会委員会（カタール・ドーハ）

2 博覧会の機運醸成に関する事業の実施

博覧会の認知向上を図るため、公式ロゴマーク等を活用し、広報 PR・機運醸成活動を実施した。

ア 国内外のイベント等での情報発信

- ・俳優 芦田愛菜さんの公式アンバサダー就任発表を行った。(9月)
- ・「GREEN×EXPO 2027 共創キックオフ・ミーティング」を開催し、出展・協賛等に関する参加メニューを公表した。採録記事を神奈川新聞に掲載した。(9月)
- ・「GREEN×EXPO 2027 開催3年前記者発表会」にて公式マスコットキャラクターデザイン発表・名前募集を行うとともに、「GREEN×EXPO 2027 共創フォーラム」を開催した。採録記事を日本経済新聞に掲載した。(3月)
- ・カタールで開催された2023年ドーハ国際園芸博覧会(10月～3月)の日本国政府出展において、博覧会をPRする展示を行った。また、1月14日に開催されたジャパンデーに合わせて、博覧会をPRする展示(花壇・パネル・映像等)を横浜市と連携して集中的に実施したほか、レセプションにおいて博覧会をPRするプレゼンテーションを実施した。閉会式ではAIPHの開催旗が次期開催国である日本に引渡された。
- ・「グリーンインフラ産業展」や当博覧会開催予定地で開催された「FLOWER Fes 2024」などで本博覧会のブースを設け、多くの来場者に対してPRを行った。
- ・博覧会の認知度向上や機運醸成を目的として、東京都、神奈川県を中心に、各種イベントに出展した。

【2023年度の主な出展イベント】

イベント名	開催期間	開催場所
G7 長野県軽井沢外務大臣会合	4月16日～18日	長野県軽井沢町
G7 宮崎農業大臣会合	4月22日～23日	宮崎県宮崎市
第40回全国都市緑化仙台フェア	4月26日～6月18日	宮城県仙台市
G7 広島サミット	5月19日～21日	広島県広島市
G7 香川・高松都市大臣会合	7月7日～9日	香川県高松市
サマーコンファレンス2023	7月22日～23日	横浜市(臨港パーク)
ベトナムフェスタin神奈川2023	9月9日～10日	横浜市(日本大通り)
フラワートライアルジャパン2023 秋	9月26日～28日	長野県茅野市他
都市緑化キャンペーン2023	10月6日	東京都千代田区
ワールドフェスタ・ヨコハマ2023	10月7日～8日	横浜市(山下公園)
第21回日比谷公園ガーデニングショー	10月21日～25日	東京都千代田区(日比谷公園)
新横浜パフォーマンス2023	10月28日～29日	横浜市(新横浜)
第52回横浜花き展覧会	12月5日～7日	横浜市(市庁舎)
グリーンインフラ産業展2024	2月20日～22日	東京都中央区
Flower Fes 2024	3月16日～17日	横浜市(旧上瀬谷通信施設)

イ 公式ホームページ等での国内外への情報発信

- ・12月に公式 Instagram、Facebook を開設し、公式 X と併せて、最新情報などの発信を、それぞれの特性を生かして幅広い世代へ行った。
- ・花き園芸・造園関係団体等の機関誌・会報誌への寄稿や情報提供を通じ、関係団体の皆様とともに本博覧会の成功に向けた機運醸成活動を行った。

【機関誌・会報誌名等】【団体名】（五十音順）

機関紙・会報誌名等	発行元
「園芸文化」	公益社団法人 園芸文化協会
「グリーン情報」	株式会社グリーン情報
「建設物価」8月号	一般財団法人 建設物価調査会
「ISUニュースレター」	国際多肉植物協会
「I. S. I. Jニュースレター3月号」	国際多肉植物協会
「JFTD通信」「花キューピット通信」	一般社団法人 JFTD
「タウンニュース」	株式会社タウンニュース社
「千葉の花」	一般社団法人 千葉造園緑化協会
「Discover Japan 相鉄線に乗って みつける！横浜中央部」	株式会社ディスカバー・ジャパン
「都市緑化技術」	公益財団法人 都市緑化機構
「都市のオアシスさんぽNO.16」	公益財団法人 都市緑化機構
「JAPAN HORTICULTURAL THERAPY SOCIETY NEWS LETTER GREEN STEP N098」	NPO法人 日本園芸療法研修会事務局
「GA コミュニケーション」	公益社団法人 日本家庭園芸普及協会
「月刊経団連2月号」	一般社団法人 日本経済団体連合会
「公園緑地」	一般社団法人 日本公園緑地協会
「種苗界」	一般社団法人 日本種苗協会
「造園連新聞1364号」	一般社団法人 日本造園組合連合会
「日造協ニュース」	一般社団法人 日本造園建設業協会
「造園修景」	一般財団法人 日本造園修景協会
「花の友」	公益財団法人 日本花の会
「JFMAニュース」	一般社団法人 日本フローラルマーケティング協会
「グリーン・エージ」	一般財団法人 日本緑化センター
「MUSIC CITY YOKOHAMA 2023-2024」	ぴあ株式会社
「FAJトレードフェア2023秋 商品カタログ」	株式会社 フラワーオークションジャパン
「花」	一般社団法人 フラワーソワエティ
「ランドスケープデザイン」	(株)マルモ出版
「マイガーデン」	(株)マルモ出版
「第60回花壇展記念誌」	一般社団法人 横浜市造園協会
「横造協だより」	一般社団法人 横浜市造園協会
「みどり」	公益財団法人 横浜市緑の協会
「横浜商工季報」	横浜商工会議所

ウ 広報ツール・活動計画の検討・展開 等

- ・公式ロゴマークを決定し、公式ロゴマーク等を活用した広報 PR・機運醸成活動を行った。(4月～)
- ・公式アンバサダーに俳優 芦田愛菜さんが就任した。(9月)
- ・公式マスコットキャラクターの発表、名前の募集開始等を行った。(3月)
- ・公式クリエイター 蜷川実花さんによる新たなキービジュアルを活用したポスター展開やチラシ配布等を開始した。(3月～)

3 事務局体制の整備・強化と健全な財務運営

(1) 事務局体制の整備・強化

国・経済界・自治体から多様な人材を確保し、事務局体制を強化した。

- ア 事務局体制の整備・強化、業務に応じた人材の確保
- イ 効率的・効果的な事務局体制のあり方等の検討 等

(2) 効果的・効率的な予算の管理・執行

円滑な開催準備と健全な財務運営の両立を図るため、効果的・効率的な収入確保・支出管理に取り組んだ。

- ア 基本計画で定めた資金計画に基づく資金調達・予算管理
- イ 予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減
- ウ 入札・契約における適正な競争環境や適切な履行の確保 等

(3) 財務基盤の強化に向けた資金調達

協会の財務基盤を強化するため、資金調達活動に取り組んだ。

- ア 寄附金の募集・拡充に向けた取組
- イ 補助金等の各種資金の確保に向けた調整 等

(4) ガバナンス機能の強化

コンプライアンスの推進を図るため、ガバナンス機能を強化した。

- ア 監査課を設置
- イ コンプライアンス委員として外部有識者を委嘱
- ウ 業務の準拠性の確認及び業務の効率化を図るため内部監査を実施

4 社員総会・理事会の開催

(1) 第10回理事会(2023年6月13日)

ア 開催場所

東京商工会議所 渋沢ホール(東京都千代田区丸の内3-2-2)
(Web会議システムの併用による会議)

イ 決議事項

- ・2022年度事業報告及びその附属明細書について
- ・2022年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について
- ・財務委員会の設置及び委員の選任について
- ・第7回(定時)社員総会の開催について

ウ 報告事項

- ・事務次長及び事務次長補の辞任について

エ 出席等

議決権のある総理事数21名、出席理事数16名、出席監事数2名

(2) 第7回(定時)社員総会(2023年6月13日)

ア 開催場所

東京商工会議所 渋沢ホール(東京都千代田区丸の内3-2-2)
(Web会議システムの併用による会議)

イ 決議事項

- ・理事の選任について
- ・常勤理事の報酬の額について
- ・2022年度計算書類及び財産目録について

ウ 報告事項

- ・2022年度事業報告について
- ・2023年度事業計画及び収支予算について

エ 出席等

全議決権数10団体、出席社員数10団体、出席理事数16名、
出席監事数2名

(3) 第11回理事会(2023年6月13日)

ア 開催場所

東京商工会議所 渋沢ホール(東京都千代田区丸の内3-2-2)
(Web会議システムの併用による会議)

イ 決議事項

- ・会長(代表理事)、副会長及び事務次長(業務執行理事)の選定について
- ・会長職を代行する事務総長及び事務次長の順序について
- ・事務次長の職務権限規程について
- ・理事の利益相反取引の承認について

ウ 報告事項

- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
- ・理事の利益相反取引の事後報告について
- ・博覧会協会のガバナンスについて
- ・輸送計画の検討状況について
- ・参加国招請について
- ・機運醸成について

エ 出席等

議決権のある総理事数 23 名、出席理事数 18 名、出席監事数 2 名

(4) 第 12 回理事会 (2023 年 6 月 23 日)

ア 開催方法

決議省略の方法による

イ 提案事項

- ・2027 年国際園芸博覧会寄附金募集基本方針について
- ・第 8 回 (臨時) 社員総会の決議の省略について

ウ 出席等

提案事項につき、理事 23 名の全員から書面により同意の意思表示を、監事 2 名の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

(5) 第 8 回 (臨時) 社員総会 (2023 年 7 月 1 日)

ア 開催方法

決議省略の方法による

イ 提案事項

- ・理事の選任について
- ・役員報酬等並びに費用に関する規程の改正について
- ・常勤理事の報酬の額について

ウ 出席等

提案事項につき、社員 10 団体の全てから書面により同意の意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなされた。

(6) 第 13 回理事会 (2023 年 7 月 1 日)

ア 開催方法

決議省略の方法による

イ 提案事項

- ・常勤理事の報酬の額について
- ・事務次長 (業務執行理事) の選定について
- ・会長職を代行する事務総長及び事務次長の順序について
- ・事務次長の職務権限規程の改正について

ウ 出席等

提案事項につき、理事 24 名の全員から書面により同意の意思表示を、監事 2

名の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

(7) 第14回理事会 (2023年11月13日)

ア 開催場所

経団連会館 4階 ダイアモンドルーム北
(東京都千代田区大手町 1-3-2)
(Web会議システムの併用による会議)

イ 報告事項

- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
- ・理事の利益相反取引の事後報告について
- ・「GREEN×EXPO ラボ」について
- ・サステナビリティ関係計画等の方向性について
- ・来場者輸送基本計画の検討状況について
- ・GREEN×EXPO 2027 共創キックオフ・ミーティングについて
- ・広報・機運醸成について
- ・GREEN×EXPO 2027 会場予定地等の視察について

ウ 出席等

議決権のある総理事数 24 名、出席理事数 14 名、出席監事数 2 名

(8) 第15回理事会 (2024年1月30日)

ア 開催方法

決議省略の方法による

イ 提案事項

- ・財務委員会の委員の選任について

ウ 出席等

提案事項につき、理事 24 名の全員から書面により同意の意思表示を、監事 2 名の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

(9) 第16回理事会 (2024年3月25日)

ア 開催方法

決議省略の方法による

イ 提案事項

- ・2024年度 事業計画及び収支予算について
- ・常勤理事の報酬の額について
- ・理事の利益相反取引の承認について

ウ 報告事項

- ・財務委員会の開催について
- ・サステナビリティ戦略の策定等について
- ・来場者輸送基本計画の策定について

- ・会場整備にかかる工事等の発注見通しの公表について
- ・3年前イベントの開催について
- ・出展に関する公募要領の公表について
- ・広報・機運醸成の取組について

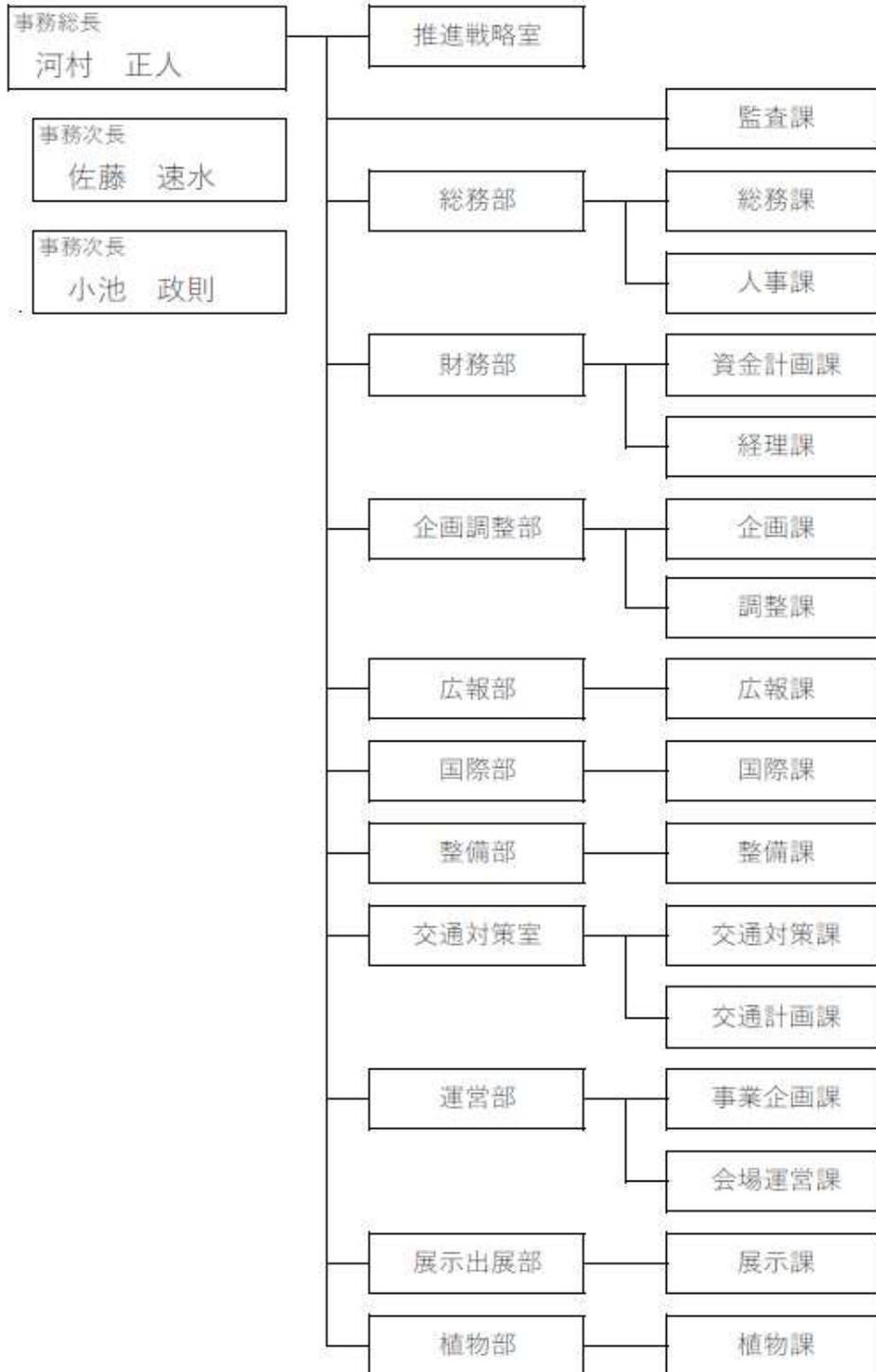
エ 出席等

提案事項につき、理事 24 名の全員から書面により同意の意思表示を、監事 2 名の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

事務局組織図（2023年6月時点）

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

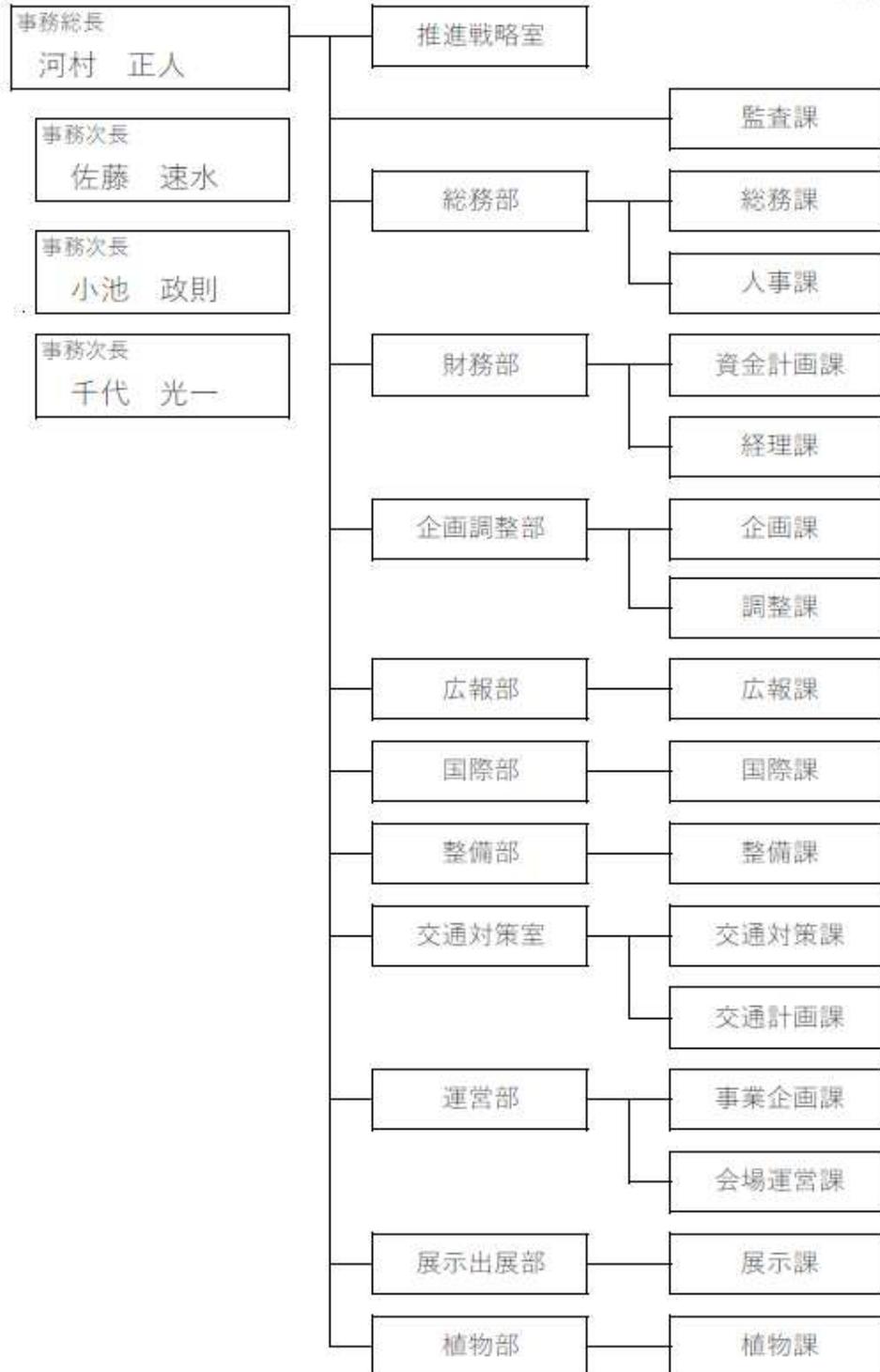
2023年6月現在



事務局組織図（2023年7月時点）

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

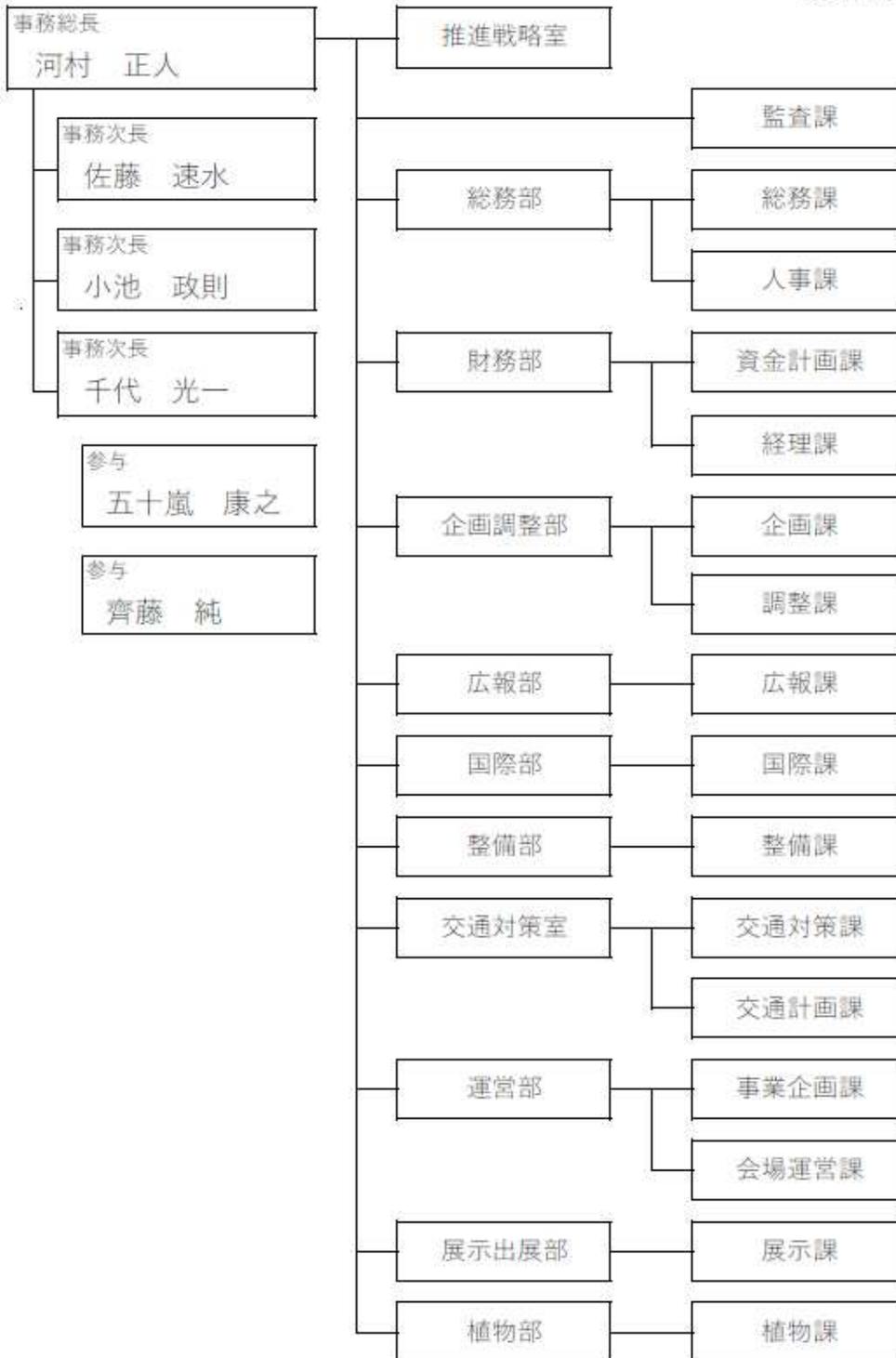
2023年7月現在



事務局組織図 (2024年2月時点)

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

2024年2月現在



事業報告書の附属明細書

2023年度事業報告（2023年4月1日から2024年3月31日まで）には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」として記載すべきことはない。